

非営利法人制度 比較表

	一般社団法人	一般財団法人	公益社団法人 公益財団法人
根拠	一般社団・財団法人法		公益法人認定法
目的・条件等	公益目的事業、共益事業、収益事業とも可 ただし、剰余金の分配不可		<ul style="list-style-type: none"> <li>公益目的事業（23項目の事業で不特定多数の者の利益増進に寄与）を行うことを主たる目的とする一般法人</li> <li>公益認定基準（法5条18項目）</li> </ul>
行政庁等	なし		行政庁＝内閣総理大臣、都道府県知事
社員等	社員2人以上	設立者1人以上	一般法人に同じ
機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事1人以上（理事会設置の場合3人以上）</li> <li>監事は理事会設置等の場合1人必置</li> <li>会計監査人は大規模法人で必置</li> <li>社員総会 必置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理事3人以上（理事会必置）</li> <li>監事1人以上</li> <li>会計監査人は大規模法人で1人以上</li> <li>評議員3人以上（評議員会必置）</li> </ul>	一般法人に同じ （理事会は必置。役員の子族、特定団体の人数の規制等あり）
設立手続	<ul style="list-style-type: none"> <li>設立時役員による定款作成</li> <li>公証人の認証</li> <li>設立時の理事の選任、財産の抛（財団法人）等の手続</li> <li>設立登記</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>一般法人設立後、行政庁に公益認定申請</li> <li>公益認定等委員会又は静岡県公益認定審議会の諮問を経て認定</li> <li>認定後、名称変更の登記</li> </ul>
経済基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>設立時の財産 不要</li> <li>基金の設置 可</li> </ul>	設立時の抛（財）出財産 300万円以上	一般法人に同じ （経理的基礎、技術的能力を有することなど）
事業	特段の規定なし		<ul style="list-style-type: none"> <li>23の公益目的事業を主に行うこと（公益目的事業比率50%以上）</li> </ul>
報告書	行政庁への提出義務なし		行政庁に毎年度提出
解散清算	<ul style="list-style-type: none"> <li>残余財産の帰属は、定款の定めによる（定款の定めがない場合は、清算法人の社員総会又は評議員会の決議による）</li> <li>休眠法人の解散（最後の登記から5年経過）</li> <li>債権者保護のための公告は3回</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>公益認定の取り消しにより一般法人に</li> <li>残余財産は類似事業目的の公益法人等に帰属</li> <li>債権者保護のための公告は3回</li> </ul>
設立までのフロー	<pre> graph TD     subgraph "一般社団・財団法人として活動"         A[定款の作成] --&gt; B[公証人の認証]         B --&gt; C[設立時の理事の選任等の必要な手続]         C --&gt; D[法務局へ登記]         D --&gt; E[法人設立]         E --&gt; F[一般社団・財団法人として活動]     end     F -- "公益認定申請あり" --&gt; G[行政庁へ公益認定申請]     G --&gt; H[審議会等へ諮問]     H --&gt; I[審議会等からの答申]     I --&gt; J{行政庁による処分}     J -- 不認定 --&gt; G     J -- 認定 --&gt; K[名称変更登記]     </pre>		

非営利法人制度 比較表

	労働者協同組合	特定非営利活動法人 (NPO法人)
根拠	労働者協同組合法	NPO法
目的・条件等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組合員が出資し、経営、労働に従事</li> <li>・組合員との間で労働契約締結</li> <li>・出資配当不可、余剰金配当は組合員の事業従事程度に応じて実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動（20項目の活動で不特定多数のもの利益増進に寄与）を主な目的とすること</li> <li>・宗教、政治活動等の制限あり</li> </ul>
行政庁等	行政庁＝都道府県知事	所轄庁＝都道府県知事、政令市市長 (法人の事務所所在地で区分) *沼津市、富士市、掛川市、磐田市、藤枝市に認証事務等の権限を移譲
社員等	3人以上	社員10人以上(常時)
機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事3人以上</li> <li>・監事1人以上</li> <li>(組合員監査会を設ける場合、監事設置義務なし)</li> <li>(役員の親族規制あり：組合員1000人を超える場合に監事は理事等の親族以外、また特定労働者協同組合は理事の親族等関係者が理事総数の3分の1以下)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事3人以上</li> <li>・監事1人以上</li> <li>(役員の親族規制あり)</li> </ul>
設立手続	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創立総会の公告</li> <li>・創立総会(定款、役員等)</li> <li>・出資の払込み</li> <li>・設立登記</li> <li>・設立の届出</li> <li>(特定労働者協同組合の場合は行政庁の認定が必要)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立総会(定款、役員等)</li> <li>・所轄庁に法人設立認証申請</li> <li>・縦覧期間をへて認証</li> <li>・認証後に設立登記</li> </ul>
経済基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出資金による</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立時資金 不要</li> <li>・基金の設置 規定なし</li> </ul>
事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・労働者派遣事業を除き制限なし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動事業</li> <li>・その他の事業(特定非営利活動に支障のない範囲で行うことができるが、収益はすべて特定非営利活動へ繰入)</li> </ul>
報告書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政庁に毎年度提出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所轄庁に毎年度提出、市民への閲覧に供する。</li> </ul>
解散清算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残余財産は、組合員の持ち分に応じた分配が可能</li> <li>(特定労働者協同組合の場合、組合員に出資額限度で分配した後の残余財産は国・地方公共団体・他の特定労働者協同組合に帰属)</li> <li>・債権者保護のための公告は1回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残余財産の帰属先は国、地方自治体、NPO法人、公益法人等から選定</li> <li>・債権者保護のための公告は1回</li> </ul>
設立までのフロー	<pre> graph TD     A[創立総会の公告] --&gt; B[創立総会]     B --&gt; C[出資の払込み]     C --&gt; D[法務局への登記]     D --&gt; E[法人設立]     E --&gt; F[設立の届出]     F --&gt; G[活動開始]     </pre>	<pre> graph TD     A[総会の開催] --&gt; B[所轄庁へ設立申請]     B --&gt; C[公表・縦覧]     C --&gt; D[2週間]     D --&gt; E[所轄庁の書類審査]     E --&gt; F[2月以内]     F --&gt; G[認証]     G --&gt; H[2週間以内]     H --&gt; I[法務局へ登記]     I --&gt; J[法人設立、活動開始]     </pre>